

## 待機児童対策等の取り組みについて

本市では、平成28年度から待機児童解消に向けた緊急対策を行い、4年間で約4,100人の受入枠増を図ってきましたが、就学前児童数の増加や保育所利用希望者の大幅な増加により、令和2年4月1日現在で365人の待機児童が発生しています。今年度の施設整備により、約1,300人の受入枠を確保できる見込みですが、令和3年4月の待機児童数は、昨年度に比べ大幅に減少するものの、1歳～3歳児に一定数発生する見込みです。

このような状況を踏まえ、令和3年度は800人の受入枠の拡充計画を立て施設整備を行うとともに、0歳児受入空間を活用した1歳児の受入を促進するなど既存施設の空間活用を図ることで、待機児童対策に取り組めます。

【参考：就学前児童数と認可保育所等の申込児童数等の推移(2018～)】(単位：人)

|              | 2018.4 | 2019.4 | 2020.4 | 2021.4 | 2022.4 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 就学前児童数(A)    | 16,745 | 17,049 | 17,233 | 17,334 | 17,138 |
| 受入枠          | 5,863  | 7,085  | 7,488  | 8,670  | 9,470  |
| 申込児童数(B)     | 7,149  | 7,729  | 8,265  | 8,813  | 9,470  |
| 保育所等申込率(B/A) | 42.7%  | 45.3%  | 48.0%  | 50.8%  | 55.3%  |

※受入枠は、子育て安心プランの利用定員数から、幼稚園預かり保育事業の枠を除いた数値。

### 1 受入枠の拡充【令和3年度予算額 2,574,247千円】

保育所等の整備計画及び過去5年間の実績は以下のとおりです。

|        |                 |      |
|--------|-----------------|------|
| 計<br>画 | ①保育所等の新設、移行等7か所 | 667人 |
|        | ②小規模保育事業所の設置7か所 | 133人 |

受入枠拡充  
状  
況

|        |        |         |       |                |              |
|--------|--------|---------|-------|----------------|--------------|
| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度  | 令和元年度 | 令和2年度          | 令和3年度        |
| +786人  | +952人  | +1,929人 | +423人 | <b>+1,282人</b> | <b>+800人</b> |

**6年間で受入枠6,172人拡充**  
2016年(平成28年)4月1日から約2.4倍

## 【参考：今年度の施設整備状況】

| NO    | 内容                          | 施設数 | 合計    |
|-------|-----------------------------|-----|-------|
| 1     | 公園内保育施設【松が丘公園、中崎遊園地、上ヶ池公園】  | 3   | 340   |
| 2     | 保育所                         | 6   | 450   |
| 3     | 幼稚園内小規模保育事業所【花園幼稚園、大久保南幼稚園】 | 2   | 34    |
| 4     | 小規模保育事業所                    | 6   | 114   |
| 5     | 分園                          | 2   | 36    |
| 6     | 認定こども園化、増設                  | 2   | 80    |
| 7     | 企業主導型保育事業所                  | 6   | 128   |
| 8     | 幼稚園3歳児保育拡充                  | 10  | 100   |
| 受入枠合計 |                             | 37  | 1,282 |

## 2 0歳児受入枠を活用した1歳児受入補助〔新規〕

0歳児と1歳児の需給差を解消し、待機児童が多い1歳児の利用を促進するため、0歳児室を活用して1歳児を受け入れた施設に対して、0歳児と1歳児の運営費の差額の一部を支給します。

## 3 保育士確保と質の向上【令和3年度予算額 367,557千円】

保育士の確保、定着、専門性向上に向けた施策を引き続き実施することで、子どもにとって良好な保育環境を整えるために必要不可欠である保育士の量の確保及び質の向上に取り組みます。

具体的には、これまで実施してきた、市内私立保育所等で勤務する保育士に対する経済的支援や私立保育所等に対する処遇改善事業、保育士総合サポートセンターを活用した就業支援事業などの保育士確保策を引き続き実施するとともに、就職フェアや研修などについては新型コロナウイルス対策を十分に講じたうえで実施します。

また、昨年度から運用を開始している保育所の職場環境向上に取り組む法人に対する支援も引き続き実施します。

## 4 市立幼稚園のさらなる活用

市立幼稚園については、預かり保育、3歳児保育（2018年度一部開始、2019年度全園で開始）、給食（2020年9月開始）の導入により、保育機能の拡充を行ってきたところです。次年度は更に3歳児保育の拡充を行うとともに、幼稚園としての利点を生かしながら、利用者の利便性向上を図るため、幼稚園型認定こども園化（3～5歳対象）を検討します。

1小学校区にそれぞれ市立幼稚園を有する明石の資産を生かし、0～2歳児対象の小規模保育事業所と連携した施設となり、「小規模保育事業所から市立幼稚園型こども園へ進級する」という新たなモデルの構築を目指します。